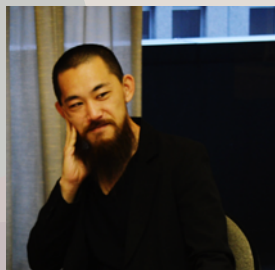


演出家・劇評家はこう読む！こう観る！戯曲トーク



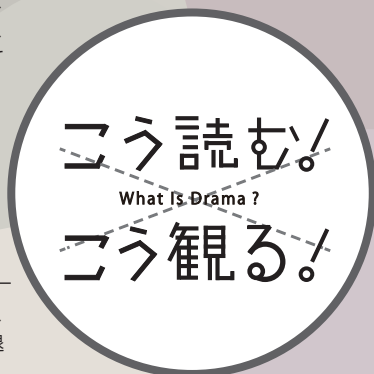
演出家 **鳴海 康平** 第七劇場主宰

1979年生まれ。早稲田大学在籍中の99年、劇団を設立。これまで国内15都市、海外4ヶ国6都市(韓国・ドイツ・フランス・台湾)で作品を上演。2004年ロシア、08年香港にて研修。12年から1年間、ポーラ美術振興財団在外研修員としてフランスに滞在。14年、三重県津市に拠点を移し、新劇場を開設。



劇評家 **安住 恭子**

1979年、読売新聞社(名古屋)に入社。芸能担当記者として、映画、演劇、音楽など芸能全般の取材当たり、特に演劇の取材に力を入れる。1999年に退社し、以後フリーの評論家、ライターとして活動。中日新聞などの新聞、演劇界、シアターアーツなどの雑誌に執筆。また、野村萬斎演出・主演の『RAS Y OMON』の脚本のほか、『百人芝居◎真夜中の弥次さん喜多さん』などのプロデュースも行う。著書『青空と迷宮・戯曲の中の北村想』ほか。



12月5日に行われる第15回AAF戯曲賞公開審査会に先がけて、関連イベントを開催！演出家、劇評家から見る「戯曲」とは。チェーホフ『かもめ』や三島由紀夫『班女』『邯鄲』など、幅広く古典戯曲を上演してきた第七劇場の公演映像なども交えながら、演劇における戯曲の役割、あり方を探ります。今年の戯曲賞にまつわる話も飛び出るかも？「戯曲」って難しそう…そもそも「戯曲」って何??、とされている方にこそ聞いていただきたいトークです。(司会・進行:愛知県芸術劇場プロデューサー 山本麦子)

2015年 11月5日(木) 19:00-21:00

愛知芸術文化センター 地下2階 アートプラザ

対象 文学・演劇などに興味のある方。初心者歓迎。

受講料 無料

定員：約30名(予約優先)

申込み

メール event@aaf.or.jp

FAX 052-971-5541

- ① お名前
- ② 連絡先(メールアドレスまたはFAX番号)

今後の
愛知県芸術劇場
プログラム

AAF 戯曲賞公開審査会 12月5日(土) 18:00- 小ホール

『戯曲とは何か?』最終選考に残った作品を、聴衆の前で公開審査。目の前で受賞作が決まります。

審査員：篠田千明、鳴海康平、羊屋白玉、三浦基

12月4日・5日関連イベント開催予定。詳細はHP・チラシにて。